

# 環境活動の取組評価

評価：○…取り組んでいる、△更に取組むが必要、×取り組んでいない

配慮項目	取組項目(部署)	取組内容(社員)	評価
	環境への負荷の自己チェック	各種負荷状況の数値把握、環境保全への取り組み状況の把握と評価を行う	○
	環境への取り組みの自己チェック		
	実行計画管理表の作成(次年度)	環境への負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの結果から重点項目を選び実行計画管理表に含める	○
	環境関連法規の取りまとめ	環境関連法規情報の見直し	○
		法律などの順守状況のチェック	○
	環境経営レポートの作成		
	現場パトロール(本社)	環境上の緊急事態に該当する事項はないか確認する	○
	現場パトロール(営業所)		
緊急事態の特定	火災発生に備えた避難訓練等の実施	○	
取組状況の確認と問題の是正	達成状況の評価。未達成要因の問題点の確認	○	
省エネ・省資源	自然エネルギーの活用	ブラインド等の活用	○
	自然光を取り入れる工夫		
	省エネルギー型設備機器		○
	省エネルギー型照明機器		○
	電気使用量の抑制		
	照明機器管理	定期的な清掃、スイッチの管理	○
	空調機器の管理	照明点灯箇所のチェック	○
エレベーターの使用制限	運転時間の適正化、適温励行(夏28℃、冬23℃)	○	
ブラインドの利用、工夫調整	窓、出入り口の開放禁止	○	
使用量の把握管理			
ガス	使用量の抑制		
	給湯温度の調整、タイマー制御	給湯時の湯量調整	○
		タイマー管理	○
使用量の把握管理	ボイラーの休止期間の設定(6~9月)	○	
水	日常的な節水の推進		
	毎月のメーター確認	節水型製品の購入	×
使用量の把握管理			
廃棄物	排出量の抑制		
	マニフェストの管理	定期的な清掃の実施	○
	分別収集の徹底		
	収集場所の整理整頓	処分場の見学	○
処分業者の処理場見学			
自動車燃料	使用量の削減		
	運転記録簿の管理	運転記録簿	○
	経済運転の徹底	エコドライブ10の取組	○
	車検チェック	タイヤ空気圧	○
	使用量の把握管理		
コピー用紙	使用量削減		
	文書、資料の共有化	両面コピー、両面印刷、ミスコピーの防止	○
	コピー印刷の適正化	縮小機能の利用	△
	ペーパーレス化の導入	ファイリングシステムの整備、電子メール	△
使用量の把握管理			
グリーン購入 文具 事務機器 容器	古紙配合率の高い用紙の使用	コピー用紙、封筒、名刺、帳票類、OA用紙	○
	古紙配合率の高い印刷物の発注	パンフレット、ノート、ファイル	○
	再生紙が使用されている製品の購入	繰込用紙、付箋紙	○
	再生された製品の購入	トイレットペーパー、リサイクルトナー	○
	詰替え可能な製品の購入	ボールペン、蛍光ペン、液体のり、消臭剤	○
	実績の把握		
その他	繰り返し利用	使用済封筒、回収箱設置	○
製品	環境配慮商品の販売推進	販売台数	
環境関連法規の遵守	産業廃棄物の適正処理、マニフェストの交付		○
	汚水、廃油等の漏れ等による環境汚染防止		○
緊急事態への対応	防災時の緊急連絡網の確認、防災マニュアルの周知		○
所員への教育	朝礼の活用、所内での貼り紙		○

## これから当社が目指す ECO ACT 21

ここ数年、逐次毎月の電気、水、石油燃料、ガス、紙等の数値を各所でチェックしながら、大きな変動があった際は原因を突き止め短期間で対策を講じ解決を図るよう努力しています。ただし、このような努力も無駄とは言いませんが数値だけに左右されて右往左往しているだけでは先に進めません。否応なしに経営環境の変化や自然環境の変化が原因で数値が変動してしまうため、数値の束縛から離れていく必要があります。

昨今、当社の ECO ACT 21 は外に向かっての働きかけを強めています。

メイン取り扱い商材である農業機械の中にあってもシンプル機能のエコな商品、環境にやさしいエンジンへの切り替え、スマート農機（自動運転・自動施肥・データ管理 etc）の推進などによりユーザーや地球環境にやさしい農業機械の普及を目指すこと……。この方向性で次のステップを目指してまいります。

## エコ商品の紹介「井関農機 HP より」

### ☆トラクタ T.Japan V TJV5 シリーズ

特殊自動車排ガス規制適合エンジン搭載、騒音低減、メンテナンスフリーなどにより T.Japan V TJV5 シリーズを「エコ商品」に認定しました。軽負荷作業時の燃料消費を抑える「新グリーンモード」も搭載し、省エネ作業にも貢献します。

T.Japan V TJV5 シリーズに採用しているエンジンは、コモンレール式電子制御燃料噴射システムと電子ガバナによって、回転数、噴射圧・噴射量・噴射タイミングなど最適な状態に制御します。インタークーラー、ウエストゲート付きターボによりさらに燃費効率と出力を向上させます。排気再循環（EGR）で、排出ガスの一部を再び燃焼させることで、燃費のロスを伴わずに NOx 低減効果を高めています。



☆土壌センサ搭載型可変施肥田植機 直進アシストシステム「オペレスタ NP80D」



最適施肥により、倒伏軽減と施肥量削減で省力・低コスト化を実現する「可変施肥田植機」に、誰でも簡単にまっすぐ植えることができる「直進アシスト機能」を追加した田植機を「スーパーエコ商品」に認定しました。自動直進機能により、オペレーターの疲労軽減、作業の効率化につながります。また、田植え時に水が多くマーカ跡が見えなくても田んぼの水量を調整する必要がないため、農業用水の節水や水質保全に貢献します。

☆フロンティアファイター HFR475、5075

排ガス規制に対応したエンジンの搭載や作業中のエンジン負荷、車速、揺動棚の層厚に応じて作業回転範囲内（グリーンゾーン）でエンジン回転を自動的にコントロールする IQ 脱穀制御を搭載したフロンティアファイターHFR475、5075（4・5条）を「エコ商品」に認定しました。

旋回や倒伏稲などの低速作業時に唐箕の風量を最適化して、脱穀ロスを低減します。

作業時には脱穀機の負荷レベルが操作席中央のモニタに表示されるので最適な設定で刈り取りを行うことができます。





## 環境関連法規などの遵守状況並びに違反、訴訟の有無

### 当社に適用となる主な環境関連法規

関係する主な環境関連法規	当社における要求事項	チェック項目	対象施設	遵法
廃棄物処理法	産業廃棄物処理業者と委託契約を締結しマニフェストの管理を徹底する。またゴミの分別を徹底することやゴミ置き場とその周辺の整備に努める	・法12-5処分許可書業者への委託 ・法12-3マニフェストの保管 ・法12-3マニフェスト交付状況届	ゴミ置き場	○
家電リサイクル法	使用している家電製品をなるべく長期間使用することにより、廃棄物の排出を抑制するよう努める。又排出時には小売業者への適切な引渡し及びリサイクル料金を支払	・法6適切な引き渡し、リサイクル料金の支払い	社内の特定家電製品	○
自動車リサイクル法	自動車をなるべく長期間使用することにより、使用済自動車となることを抑制するよう努める。又資金管理人への再資源化等預託金の預託義務と引取業者への使用済自動車の引渡しを義務とする	・法5所有者の責務 ・法73使用済自動車のリサイクル	当社所有自動車	○
消防法	市火災予防条例に基づく少量危険物の取扱に関する事項の遵守。又当社の消防計画に沿って避難訓練を実施し、計画が効果的かの見直しを図る	・法9-4少量危険物の取扱 ・法17消防用設備等の設置 ・法17-3消防用設備等の点検	事務所 部品庫 修理工場	○
フロン排出抑制法	特定製品が廃棄される場合、フロン類の適正かつ確実な回収、破壊及び排出の抑制に必要な措置を講ずる  第一種特定製品（対象設備）の把握と簡易点検の実施及び記録簿の保存	・法16簡易点検 ・法86フロン類の放出禁止	エアコン設備	○
悪臭防止法	整備工場において悪臭が発生すると思われる作業については、防止対策を講ずる	・法7規制基準の遵守	修理工場	○
浄化槽法	保守点検及び清掃	・法11定期検査の実施 ・法10保守点検及び清掃	浄化槽	○
小型家電リサイクル法	再資源化を適正に実施し得る者に引き渡すよう努める	・法7分別して排出	社内の小型家電	○

遵法欄：○は問題なし、×は即対処、△は再調査後問題あれば対処。

環境関連法に関する訴訟、法律違反、苦情はありません。

## 代表者による総評

農に携わる当社ならではのエコ 21 の取り組みとして、社内での脱炭素化推進をベースに、社外に向けて取扱商品を通して環境負荷軽減・削減に取り組んでいく事が今、求められています。昨今の企業におけるSDGs（持続可能な開発目標）の提示、実践がまさしくその一つで、当社も井関グループ（食と農と大地のソリューションカンパニー）の一員としてサステナブルな取り組みを始めています。

環境負荷軽減エンジン開発、農作業の省力化（1工程で数工程の作業を行なう機械・ロボット化）、燃料消費の削減や電動化した商品等を市場に普及させることで貧困・飢餓の解消、人々の健康を維持、エネルギーのクリーン化（気候変動対策）、大地の豊かさを守ることから、住みよい地域社会づくり、成長し続ける働き甲斐のある社会づくりへと目標を高めていくことの一部を微力ながら担えればと願っております。

社員一人一人が当社で働くことで地球規模の取り組みに参加していることを意識して今後も業務遂行してまいります。

